

後援：奈良県

11th

奥村記念館ミニコンサート

Okumura Commemorative Museum mini concert

2013年 **11月23日** (土) 14:30～ 入場無料

■演奏：アンサンブルシヴィル

ヴァイオリン：鈴木 裕（名鉄協商株式会社、名古屋鉄道株式会社から出向）
ヴァイオリン：原文人（近鉄車両エンジニアリング株式会社、近畿日本鉄道株式会社から出向）
ヴィオラ：大橋康廣（フリーランサー、元東急建設株式会社）
チェロ：内藤博行（近畿日本鉄道株式会社）

■曲 目

ハイドン 弦楽四重奏曲第49番ニ長調Op. 50-6 「蛙」
モーツァルト 弦楽四重奏曲第21番ニ長調K. 575 「プロシャ王第1番」
ボロディン 弦楽四重奏曲第2番ニ長調

アンサンブルシヴィル

アンサンブルシヴィルは土木技術者15名からなる弦楽合奏団です。

1994年の土木学会創立80周年記念式典で演奏するにあたり、学会員の公募により1993年12月に結成され、以来20年間、土木学会ほか土木関係の行事を中心に演奏活動を行っています。1995年には英国土木学会ICEに招致されロンドン公演を実現したほか、2007年10月には韓国土木学会KSCEから招致され、首席奏者によるカルテットが韓国土木学会全国大会に参加し、同学会の合唱団であるシヴィル・ハーモニーと共演するなど、海外の音楽を愛する土木技術者との交流も積極的に行っています。また、2009年には沖縄と山梨県北杜市、2010年には湯布院と福岡市にて自主公演を行い、2010年2月には「みなとみらいアマチュア室内楽フェスティバル2010」で演奏するなど一般市民との交流も行っています。

メンバーは全国各地に散らばっており、職場も違います。普段は地元のオーケストラや弦楽合奏団に所属して演奏活動をしており、シヴィルのメンバーが揃って練習するのは、年に2回の合宿と、演奏会本番当日だけです。しかし、メンバーは土木技術者という共通の糸で結ばれており、いざ演奏となればコンサートマスターを中心にすぐにまとめることができます。

土木とアンサンブルとは一見似ても似つかないように見えますが、構成員みんなが自分に課せられた役割を認識し力を合わせることによって、はじめて良い物を作り上げることができる点で、共通点が多いと思っています。

奥村記念館

株式会社奥村組の創業100周年を記念して2007年4月にオープンしました。観光案内所として、休憩所として観光客の皆様や地元の皆様にご利用いただくとともに、免震関係の技術と奥村組の歴史を展示しています。開館から6年半、ご来館いただいた方は、86万人になります。

